

## 第9回緑の回廊（土湯の森）自然再生実施協議会

6月26日（金）、平成19年度から9回目の開催となる土湯の森自然再生実施協議会を、山形県戸沢村にて実施しました。

平成15年度に鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊内に取り込まれたこの土湯の森は、最上川スキー場跡地内のゲレンデ跡等を、市民参加の活動との連携により、「自然回復力及び人為的な行為」をもって自然再生事業を実施し、針広混交林の姿に回復させることを目的に、本協議会が設置されました。

午前中は、会長、委員及び事務局全員で現地を踏査、現状を把握し、午後の協議会に臨みました。

会議では、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画等の議題を協議するとともに、5カ年にわたる第二次自然再生実施計画が、平成28年度に終了することから、今後の土湯の森のあるべき姿の方向性についても議論が行われました。

地元の住民の方や、委員の方々の協力を得て、今年度についても、地元戸沢村小学生を対象とした森林環境教育や植生モニタリング調査等を実施して参ります。



（調査対象プロット内を確認）



（H25年度に戸沢村緑の少年団の方々に播いてもらったブナの種が順調に育っています）



（スキー場跡地の植生発生状況を確認）



（議題協議）